

大阪文化祭賞グランプリ

部門	受賞者名		贈呈理由	参考事項	住所・連絡先		公演会場	
	生年月日(年齢)				公演名・主催者	開催年月日		
2	○上方講談師 (社)芸団協理事 芸団協関西 代表幹事 キョクドウコナンリョウ 旭堂 小南陵 本名 西野 康雄 昭和24年9月4日生 (55歳)		第23回旭堂小南陵独演会 の成果 むつかしいとされる大作「安宅の勳進帳」を、きわめて格調高く演じ切った手腕は、小南陵の気力、体力が充実している証左である。しかも、「朗読」に挑戦。講談という芸が、「読む」という芸の型体であることを、改めて主張した。こうした内容ある独演会の成果が、大きく評価された。他部門と比べても、その力量は高く、グランプリ受賞となった。	・1968年近畿大学入学と同時に旭堂小南陵に師事 ・1972年三代目旭堂南右(なんう)となる ・1974年大阪府立大学、大学院修士課程修了 農学修士 ・1978年三代目旭堂 小南陵 襲名 真打 ・1982年大阪文化祭奨励賞 ・1985年国立花形若手金賞 ・1987年大阪府民劇場奨励賞 ・1999年上方お笑い大賞 審査員特別賞 ・2001年文化庁芸術祭優秀賞	西宮市在住 (有)オフィス・キミコ TEL0798-70-7616	第23回旭堂小南陵独演会 講談の「読み」と小説の「朗読」を聞き比べる会 主催:旭堂 小南陵	ワッハホール 10月24日(日)	

文化祭賞

部門	受賞者名		贈呈理由	参考事項	住所・連絡先		公演会場	
	生年月日(年齢)				公演名・主催者	開催年月日		
1	○沢井箏曲院教師 沢井忠夫合奏団団員 カサイ マサヨ 笠井 昌代 本名 笠井昌代 (46歳)		笠井昌代 箏・十七弦リサイタルの成果 邦楽の可能性を広げる演奏会になったことが評価された。「十七弦独奏のための瑠々の調べ」は、指で弾いたり琴爪で弾くなど様々な音色を奏で、曲想の面白さもあるが、波が打ち寄せるような穏やかさと厳しさを感ぜさせる演奏に迫力があつた。尺八と箏による二重奏曲「風によせる三つの前奏曲」、リズムカルな箏と十七弦の「上昇の彼方」など共演者の実力も高く、古典の枠におさまらない「音」の楽しさがあつた。	4歳より島寄久子氏に生田流箏曲を師事、大阪音楽大学器楽科箏専攻卒業。在学中、須山知行氏、中島警子氏、菊原初子氏の各氏に師事。卒業後、公立中学校音楽教諭を5年間勤める。 ・1987年沢井忠夫氏に師事 ・1991年沢井箏曲院合奏ゼミナール第7期卒業 ・1995年大阪府芸術劇場奨励新人に選ばれる ・1997～2004年笠井昌代 箏・十七弦コンサート開催(6回) ・1999年「万里の長城杯」国際音楽コンクール第2位入賞 沢井箏曲院教師 沢井忠夫合奏団団員 邦楽「風の会」主宰、沢井忠夫氏、沢井一恵氏に師事	交野市在住 TEL072-893-3938	笠井昌代 箏・十七弦リサイタル 主催:笠井昌代	イシハラホール 11月28日(日)	
	○花柳流 専門部 ハナヤギダイソウ 花柳 乃三 本名 関本 三澄美 昭和34年8月27日生 (45歳)		第7回「乃三の会」の成果 長唄「夢殿」は昭和初期、佐々木信綱の作詞をもとに創られた作品。晩秋の法隆寺・夢殿によせる“祈り”をテーマにした精神性の高いもので、印を結ぶような振りや飛天の軽やかさなどの表現も優れていた。一方、古典の大作「京鹿子娘道成寺」では道行から鐘入りまでを丁寧に踊りこんで、華麗な歌舞伎舞踊の魅力を存分に発揮した。花柳乃三が対照的な二つの作品に意欲的に取り組んだ点を高く評価する。	・昭和37年花柳大蔵 入門 ・昭和52年花柳流名取 花柳乃三 ・昭和62年花柳流 専門部取得 ・平成4年舞踊協会「北州」にて新春舞踊大会奨励賞 ・平成14年第6回乃三の会「遍路」鐘文化庁芸術祭、新人賞受賞	大阪市北区在住 TEL06-6344-6412	亡き母 洋子を偲ぶ 第7回「乃三の会」 主催:花柳乃三	国立文楽劇場 10月2日(土)	

3	<p>○音楽家 (ヴァイオリニスト)</p> <p>ナカジマ チカコ 中島 慎子</p> <p>本名 中島慎子</p> <p>昭和49年6月5日生 (30歳)</p>	<p>中島 慎子ヴァイオリンリサイタルの成果</p> <p>今回の中島慎子の演奏には、思い切りよく各作品の核心に切り込む凄みが備わっていた。しかも、ただ力で押し切るのではなく、どの作品でも表現の密度が非常に濃く、情感も豊かだ。作品に対するイメージも実に明確かつ的確で、それを音にしていく上で、考え抜かれた知的な裏付けやそれを表現し尽くそうという意志の強さがあり、全てが絶妙にバランスしている。彼女の技術や音楽性の高さが余す所なく示された魅力的な演奏であった。</p>	<p>大阪府立天王寺高校を経て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1997年桐朋学園大学音楽学部卒業 ・1998年オランダに留学。H.クレッパース氏に師事・2001年帰国 <p>帰国後リサイタルを重ねるほか、サイトウキネン・オーケストラ、イシハラリリックアンサンブル、いずみシンフォニエッタ大阪、クアルテット「J」などのメンバーも務め活動している。1993年にはABCフレッシュコンサート(外山雄三指揮・大阪フィル、ザ・シンフォニーホール)に選ばれて出演。'95年には皇后陛下の基金により、震災救援の演奏会に朝比奈隆指揮・大阪フィルに出演(神戸)'97年大阪フィル創立50周年記念定期演奏会で大栗裕のヴァイオリン協奏曲を外山雄三指揮・大阪フィルと協演するなど多数の指揮者、オーケストラとも協演している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1993年日本音楽コンクール2位 ・1996年第2回ストラディヴァリウスコンクール2位 ・2000年第5回ストラディヴァリウスコンクール優勝 	<p>大阪市生野区在住</p> <p>大阪コンサート協会 TEL06-6762-2204</p>	いずみホール
				<p>中島 慎子ヴァイオリンリサイタル</p> <p>主催:大阪コンサート協会</p>	11月20日(土)

文化祭賞

部門	受賞者名	贈呈理由	参考事項	住所・連絡先	公演会場
	生年月日(年齢)			公演名・主催者	開催年月日
3	<p>○声楽家</p> <p>ヤマダ リブ 山田 暢</p> <p>本名 山田 暢</p> <p>昭和22年2月25日生 (57歳)</p>	<p>山田 暢 ソプラノ・リサイタルの成果</p> <p>フランス歌曲の、あまり知られていない作品ばかりの地味なプログラムだが、それぞれの詩を深く掘り下げて表現した。エスプリたっぷりに、語り、歌う。大きな声を使わなくとも、歌は立派に歌えるというお手本を示した。とりわけ印象に残ったのは、ラヴェルの「カディッシュ」だった。ユダヤ教の聖歌ともいえる作品だが、厳しさのなかに、魂の叫びが聞こえた。ピアノの大ベテラン、ダルトン・ポールドウインの好サポートも目覚ましい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1971年愛知県立芸術大学音楽学部 声楽科卒 ・1973年同大学院修士課程修了 ・1973年大阪芸術大学演奏学科非常勤講師(2004年3月まで) <p>主にフランス歌曲を中心にコンサートをする。関西を中心に、東京、名古屋、沖縄でのコンサートが多い。1980年以後、オペレッタにも出演「こうもり」(ロザリンデ)「チャールダーシュの女王」(シルヴァ)「メリー・ウイドウ」(ハンナ)「ウィーン気質」(ガヴリエール)他に「カルメン」(ミカエラ)など。中村浩子、岡田晴美、G・スゼエ、P・エイムズファイン等に師事。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1971年桑原賞(愛知県知事賞) ・1977年フランス音楽コンクール声楽1位 ・1979年第1回日仏声楽コンクール審査員特別賞 ・1980年民音洋楽コンクール入選 ・1987年大阪文化祭賞奨励賞 	<p>兵庫県芦屋市在住</p> <p>大阪コンサート協会 TEL06-6762-2204</p>	イシハラホール
				<p>山田 暢 ソプラノ・リサイタル</p> <p>主催:大阪コンサート協会</p>	11月24日(水)

奨励賞

部門	受賞者名	贈呈理由	参考事項	住所・連絡先	公演会場
	生年月日(年齢)			公演名・主催者	開催年月日
1	○舞踊家、 山村流 若登会副代表 ヤマムラ カネコ 山村 謙江 本名 山口謙江 昭和29年1月18日生 (50歳)	若登会 地唄「越後獅子」の成果 「越後獅子」は、越後から来て町々をまわっていた獅子舞の旅芸人を題材にした地唄舞である。獅子舞とは言っても、長唄の同題曲とは違って、リアルに大道芸を表現するのではなく、上品な様式の中で舞う。山村謙江はしっかりと安定した力で、品格ある舞を見せた。山村流独特の赤い手獅子を時に華やかに、時にめでたく扱いながら、いかにも上方ののどかな雰囲気も表現した。その成果は賞にふさわしい。	山村若祿次、久子の長女として大阪に生まれる、伯母にあたる山村流四世宗家山村若師に3歳より稽古を始める 昭和44年高校1年の時山村謙江の名を許される 昭和51年大阪樟蔭女子大学卒業後、代稽古並びに弟子の稽古をつける 昭和56年伝統芸能三人の会より「三國一」「蛙」で新人賞 受賞 昭和57年日本芸能よりグリーンリボン新人賞 受賞 " 香港市政局主催の第6回アジア芸能際に山村流を代表して参加する一方15歳の時より鳴物、長唄の稽古を始める。19歳の時、大阪放送劇団付属研究所にて1年間芝居の勉強をする。現在大阪の私立東平幼稚園で講師を勤める。	大阪市住吉区在住 TEL06-6675-4656	国立文楽劇場
				山村久子を偲び 若登会 主催:山村若祿次・山村謙江	10月10日(日)
1	○シテ方宝生能楽師 (社)能楽協会会員 (社)日本能楽協会会員 (社)宝生会会員 タツミ マンジロウ 辰巳 満次郎 本名 辰巳満次郎 昭和34年11月19日生 (45歳)	七宝会 別会 能「烏帽子折」の成果 能がきわめて緩慢で様式的な演劇になっている現代にあつては、『烏帽子折』のような舞踊的な要素のない現在能はなかなか成功ということが望めない演目となっているが、辰巳満次郎の『烏帽子折』はすぐれた作品解釈とめぐまれた役者としての資質によって、そのような汎時代的な状況を克服して、『烏帽子折』が本来有していた魅力を引き出すことに成功した。たんなる技術だけでない「何か」を感じさせる面白い舞台だった。	・1964年大阪七宝会「国栖」子方、初舞台 ・1975年大阪式能「翁千歳」 ・1978年東京芸術大学邦楽科入学18世宗家故宝生英雄の内弟子となる ・1982年大阪七宝会「敦盛」初シテ ・1986年独立。大阪七宝会別会に於いて「石橋」 ・1992年東京宝生会に於いて「道成寺」 ・1993年東京宝生会に於いて「乱」 ・2001年重要無形文化財 総合指定を受ける ・1986～93年東京芸術大楽非常勤講師 能楽協会教育特別委員会 海外公演多数	東京都目黒区在中 七宝会 TEL072-831-3206	大阪能楽会館
				七宝会 別会 主催:七宝会	10月30日(土)
2	○女優 NPO法人グローバルシアター和の輪 代表 シロタニ サヨコ 城谷 小夜子 本名 城谷小夜子 昭和27年12月15日生 (52歳)	城谷小夜子一人芝居の成果 谷崎潤一郎の「朧」が近代の大阪言葉で書かれているように、近世の上方言葉で書かれたはずの近松門左衛門の最高傑作「心中天網島」を、原文のまま、女優が一人で十七役を演じ分けるという試みは、近松が没して280年を迎える年にふさわしいものでした。80年以上上演されなかった「橋づくし」の段を、人間国宝・鶴澤友路が91歳の高齢にして作曲に挑戦し、竹本初美太夫と共に原曲復帰した意義は大きいものがあります	・1976年劇団前進座入座 ・2000年劇団前進座退座 ・2001年NPO法人グローバルシアター和の輪創立 「たいこどんどん」で関西の会賞 京都西陣出身 明治大学英文科中退。前進座付属養成所卒業。ロシア・サントクペテルスブルク演劇アカデミー、USAエール大学大学院、香港大学、台湾大学などで、演劇を通して日本文化を教える。 主な舞台:五木寛之作「蓮如」の蓮祐役・樋口一葉作「十三夜」のおせき役など。 日舞名取り 近松もの10作品上演を目ざしている。	千葉県松戸市在住 (株)イオ 乙部順子 TEL03-3234-5581	ワッハホール
				女のつくる「心中天網島」 主催:NPO法人グローバルシアター和の輪	10月5日(火)

奨励賞

部門	受賞者名		参考事項	住所・連絡先	公演会場
	生年月日(年齢)	贈呈理由		公演名・主催者	開催年月日
2	<p>○落語家 ショウフクテイ 笑福亭 たま</p> <p>本名 辻 俊介 昭和50年1月6日生 (29歳)</p>	<p>第20回笑福亭たまのフレンドリー寄席の成果 斬新な演出により、十代から熟年まで幅広い層の観客を楽しませた。 「へっつい盗人」や「代書屋」の登場人物に個性的なキャラクターをあたえ、ビジュアルな落語に徹して成功させた。 また開口一番から登場するなど、催しの構成にも工夫を凝らし、芸に挑む若々しい姿勢が随所に見られた。 今後のさらなる精進を期待して、大阪文化祭奨励賞</p>	<p>平成10年 笑福亭福笑に入門 平成12年 年季明け</p> <p>平成16年大阪府舞台芸術新人賞受賞</p>	<p>大阪市中央区在中 Tel(ピリヤード社) 0724-65-1857</p>	トリイホール
				<p>第20回笑福亭たまのフレンドリー寄席 主催:笑福亭たま</p>	10月24日(日)
3	<p>ホウムラトモイ 法村友井バレエ団</p>	<p>法村友井バレエ団公演「ロメオとジュリエット」全幕の プロコフィエフ音楽のバレエ「ロメオとジュリエット」をロシアの演出を参考にしつつ、同バレエ団らしい豪華で重厚な作品に仕上げた。ジュリエット役の新入、高田万里は、柔軟な肢体を生かした瑞々しい演技。ロメオ役、法村圭緒の端正さも生きた。ティボルト＝大野晃弘、マキューシオ＝北村俊介、パリス＝今村泰典らのキャストینگも的確で、ドラマティックな舞台が展開された。舞台美術や衣裳も含め、総合芸術のバレエ公演として高く評価できる。</p>	<p>昭和12年に結成され、大阪と東京に本拠を持つ関西唯一のプロのバレエ団。現、団長は法村牧緒でソ連邦国立ワガノワ名称ロシア・バレエ・アカデミーに留学、その技術と知識を元にバレエ団の教育をし「白鳥の湖」「眠れる森の美女」「くるみ割り人形」「ジゼル」「シンデレラ」「コッペリア」「ドン・キホーテ」のポピュラーな作品の他に「石の花」「エスメラルダ」「バフチサライの泉」「バヤデルカ」「ラ・シルフィード」「ロメオとジュリエット」等の大作や世界でも珍しい作品を彼の振付でレパートリーに持っている。2003年にはロシア公演を行い大喝采を受けた。プロの団員約50名、ジュニアバレエ団を下組織とし、人材は豊富である。東京・大阪の公演の他、劇場主催や親子劇場で年間、多数の舞台を持っている。受賞歴多数。 ・昭和29年 大阪芸術賞 ・昭和34年度芸術祭奨励賞(文化庁)・芸術祭奨励賞(大阪) ・昭和35年度芸術祭奨励賞(文化庁) ・昭和36・44年 府民劇場奨励賞 ・昭和45・50年度大阪文化祭賞 ・昭和62年 府民劇場賞 ・昭和63年 府知事表彰 ・平成 2年度 芸術祭賞(文化庁)・平成15年度 芸術祭大賞(文化庁)他</p>	<p>大阪市天王寺区 法村友井バレエ団 Tel.06-6771-6475</p>	フェスティバルホール
				<p>法村友井バレエ団公演「ロメオとジュリエット」全幕 主催:法村友井バレエ団</p>	11月13日(土)
3	<p>○ソプラノ カキオカ アツコ 垣岡 敦子</p> <p>本名 垣岡敦子 昭和42年8月22日生 (37歳)</p>	<p>垣岡敦子ソプラノリサイタルの成果</p> <p>垣岡敦子さんの特性は、透明感に富む美しい声と作品ごとの曲想を踏まえたバランス良い歌唱、そして何より歌を通じ聴衆とコミュニケーションする力にある。公演では特にブランクの歌曲でこうした個性が発揮されたように思われる。また照明演出や所作を伴ったオペアリア歌唱では役づくりへの熱意と独特の“華”が印象的だった。今後、一層の発声充実と表現力の涵養を通じ、スケールの大きな歌手へ大成することを期待する。</p>	<p>・1989年同志社女子大学 学芸学部 音楽学科 音楽専攻卒業 ・1990年同志社女子大学 学芸学部 音楽学科特別専攻科修了</p> <p>第6回日本クラシック音楽コンクール最高位受賞。 2001年イタリア・コルテミツリア国際コンクール第2位その他多くのコンクールに受賞。オペラでは「藤戸の浦」でデビューの後、「仏陀」「トウランドット」「ボエーム」「リゴレット」「こうもり」等で活躍。現在、ダンテ・マツオーラ、ピアンカマリア・カゾーニの両氏に研鑽を積む。 ミラノ在住。</p>	<p>八尾市在住 大阪アーティスト協会 Tel.06-6135-0503</p>	いずみホール
				<p>垣岡敦子ソプラノリサイタル 主催:大阪アーティスト協会</p>	11月21日(日)

3	<p>○ヴァイオリン タカギ カズヒロ 高木 和弘</p> <p>本名 高木和弘</p> <p>昭和47年10月27日生 (32歳)</p> <p>○ピアノ マツムラ ヒデオミ 松村 英臣</p> <p>本名 松村英臣</p> <p>昭和37年9月19日生 (42歳)</p>	<p>高木和弘ヴァイオリンリサイタル2004 Un rêve夢 vol.2の成果</p> <p>リサイタルの主催者、高木和弘のヴァイオリンの技術的な隙のなさ、完成度は特筆に値する。ヒナステラ(アルゼンチン)、バルトーク(ハンガリー)、エネスコ(ルーマニア)、プロッホ(ユダヤの伝統)という、文化の画一化に抵抗した20世紀の四人の作曲家に着目したのは、見識と企画力の証と言えよう。しかしながら、「夢Vol.2」と題された演奏会の充足感、共演者、松村英臣のピアノを抜きには考えることができない。バルトーク「ヴァイオリンとピアノのためのソナタ第1番」の印象派風の透明度と、怪物的だが暴力的ではない強度。エネスコ「子供の情景」のまばゆい輝きなど、ピアノの圧倒的な色彩を得て初めて、各曲の特性が明確になった。中立的な柔軟性と、核心へ切り込む大胆さ。お二人の、ほとんど水と油と言ってよい異質な個性の衝突ぶりは、今年度の公演の中でも、際だってスリリングな瞬間であった。</p>	<p>高木和弘</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1994年フランス国立リヨン高等音楽院首席卒業 ・2001～2年シカゴシヴィック・オーケストラコンサートマスター ・2002年～ヴェルテンベルグ・フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスター在籍中 ・1997年エリーザベート王妃国際音楽コンクール入賞 ・1998年ジュネーブ国際音楽コンクール第3位(1位なし) ・2001年フィッシュ室内楽コンクールにてEusia弦楽四重奏団第1ヴァイオリン奏者として第1位 他 <p>松村英臣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1986年大阪音楽大学 首席卒業 ・1988年大阪音楽大学 大学院修了 ・1989,90,94年大阪文化祭賞奨励賞 ・1990年第9回チャイコフスキー国際コンクールにてディプロマ及びベストパッサ演奏者賞 ・1991年大阪府民劇場奨励賞 他 	<p>高木・大阪市東淀川区 在住 松村・大阪市東住吉区 在住</p> <p>大阪アーティスト協会 TEL06-6135-0503</p>	<p>いずみホール</p>
	<p>高木和弘ヴァイオリンリサイタル2004 Un rêve夢 vol.2</p> <p>主催：大阪アーティスト協会</p>	<p>11月14日(日)</p>			